

6年生にも負けず 篠田星風選手、吉本隼磨選手



2人の所属している「KINGS FOOTBALL CLUB U-12」は、県予選で準優勝し、3月に開催された九州ジュニア(U-12)サッカー大会に出場しました。吉本選手は縦の突破を得意とし、篠田選手は状況判断の良いプレーをする選手です。

九州大会 第3位！ 津久見サッカースポーツ少年団



昨年12月に開催された県ジュニアサッカー選手権大会で優勝し、熊本県で開催された九州大会に出場しました。県大会決勝で大分トリニータU-12を終始優勢で勝利し、勢いにのったまま九州大会でも見事に3位に輝きました。

九州制覇！ 大分南リトルシニア



「リトルシニア九州連盟春季大会」において優勝し、7月に開催される全国大会の出場権を得ました。部員18名のうち、8名が津久見市の選手で構成されているチームで、中でも投手の挟間大暉選手は、最高殊勲選手に選ばれました。

サプライズゲストも登場



津久見市民会館リニューアルオープン記念 伊勢正三スペシャルコンサート『ただいま』

3月5日、津久見市民会館リニューアルオープン記念として、伊勢正三スペシャルコンサート『ただいま』が開催されました。

満員の観客の中、津久見の海岸通りを思って作られた「海岸通」で始まり、観客から「おかえり」の声援に、コンサートタイトルのとおり「ただいま」と返す言葉から始まり、「なごり雪」「22才の別れ」を含め、津久見をモチーフにした曲が演奏されました。

途中、高校生時代から共にバンド活動をし、「かぐや姫」でも共に活動した、南こうせつさんもサプライズで登場し、会場の盛り上がりは最高潮に達しました。

ゲスト出演した、太田裕美さんの「木綿のハンカチーフ」、大野真澄さんの「学生街の喫茶店」なども演奏され、想い出にふける夜となりました。

前回大会では3位と健闘 津久見スターズ



津久見スターズは、昨年10月に行われた県予選で県代表を勝ち取り、5月から和歌山県で行われる西日本古希軟式野球大会に出場します。高野監督からは「一戦必勝！昨年よりは上位を目指す」と意気込みを聞かせていただきました。

入賞ならず 大分ふるさとCM大賞



大分市で開催された「大分ふるさとCM大賞Vol.14」に津久見市も参加しましたが、残念ながら入賞は逃してしまいました。しかしながら、特産品を販売したブースでは、ひじき飯、さざえ飯が完売するなどの盛況ぶりでした。

約3,700人が訓練に参加 第5回市内合同避難訓練

3月12日に行われた訓練には、およそ3,700人の方が参加し、一時避難所へ避難、消火訓練、炊出し訓練、震災体験者の談話など、各自自主防災会ごとに防災訓練が行われました。



長目地区においては、地震体験車（ユレンダー）の体験搭乗があり、過去に起きた大地震を体験し、揺れている最中は何もできないことを実感しました。消防庁舎では、大分県測量設計コンサルタンツ協会による小型無人機（ドローン）を活用した被害調査訓練や市職員による災害対策本部運営初動訓練が行われました。



お疲れさまでした 道路清掃車「たちばな号」

いつも市内で見かけていたお馴染みの黄色い清掃車「たちばな号」ですが、昭和46年に設立され、これまで約45年間、道路清掃活動を行ってきた「津久見市道路清掃協会」が、3月末をもって解散することになり、3月17日をもって、25年間働きつづけてきた4代目で、その役目を終えることとなりました。

作業員の中村博見さんは、「これまで長い間お世話になりました、無事故で業務を終えることができたのが一番」とコメント。

長い間、おつかれさまでした。



東日本大震災から6年が経ち、時間の経過とともに防災意識が薄れていくなか、繰り返し行う防災訓練の重要性を感じました。

来年の「市内合同避難訓練」は、東日本大震災の発生から7年目の当日となる、3月11日（日）を行う予定です。ぜひ参加しましょう。

31人1団体を表彰 第25回津久見市社会福祉大会



2月22日、「津久見市社会福祉大会」が市民会館にて開催され、地域福祉の推進に貢献された方々が表彰されました。また、宇佐市にある「大分県糸口学園」職員による講話と利用者で結成した和太鼓の迫力ある演奏も行われました。

見守りネットワークの強化 連携協定 調印式



高齢者などに、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、民生委員により「声かけ見守り活動」が行われています。しかし、突然の入院や入所等で所在がわからなくなり、所在確認に時間を要するケースが増えてきています。そこで、市と市内の居宅支援事業所が協定を結び、高齢者の病院への入院や施設への入退所情報をいち早く民生委員に伝えることが可能になります。

また、「津久見市見守りネットワーク協定」の調印式も行われ、LPガス販売事業者、新聞販売店、電力会社、郵便局など地域に密着している事業者、普段の営業活動の中で、異変に気づいたら連絡をしてもらえる体制が整い、これまでの民生委員の活動に加え、見守りネットワークの輪が広がりました。

「ふるさと教育」第4弾 石灰石の理科実験

見るより聞くより体験する



今回は、前回の河津桜植樹に続く第4弾として、市内中学2年生150名を対象に、世界に誇る津久見市の基幹産業である石灰産業について、地元企業の方々（石灰工業会）をゲストティーチャーとして招き、理科実験授業方式で学びました。

まずは、石灰の基礎知識について、昨年作成された副読本「津久見の石灰石とわたしたちの暮らし」をテキストとして利用した講義を受けた後、グループに分かれ各種実験を行いました。

いつもは遠くから石灰鉱山や工場を眺めているだけですが、目の前で石灰石がいろんな化学反応を起こす様に、興味津々と目を輝かせながら楽しんでいました。

ゲストティーチャーより「今回の授業で興味を持ってもらい、将来は石灰産業を支える人物となり、無限の可能性がある石灰石の新製品を開発してくれたら嬉しい」とコメントをいただきました。

今回行われた実験

- ・ ペットボトルに消石灰と二酸化炭素を入れ発熱実験
- ・ 生石灰を水に溶かし、かき混ぜると発熱する実験
- ・ 石灰水に息を吹き込むと、どうなるか？
- ・ 石灰石にクエン酸をかけ、蓋を飛ばすフィルムケースロケット
- ・ 石灰石の発熱を利用した「石灰たまご」作り



市内小中学生を対象に、ふるさと津久見に愛着を持ち、ふるさとを大切にする人になつてもらいたい趣旨で「ふるさと教育」が行われております。

682人がチャレンジ つくみんイキイキ健康マイレージ



昨年、9月から11月に実施した「つくみんイキイキ健康マイレージ」に参加した団体へ、グループ特典を贈呈しました。贈呈式の後には懇談会を行い、取組みで工夫したことや、改善点などについて話を伺いました。ぜひ来年は参加してみてください。

スポーツを通じて健全育成 公益財団法人 戸高育英会



3月6日、市内小学生の健全育成を目的とした事業の一環として、戸高育英会より大分トリニータのホーム試合SS指定席チケットを寄贈していただきました。J2に昇格した大分トリニータの試合を見て楽しんでいただきたいと思います。

魚嫌いの子も完食 干物七輪焼き体験学習



この体験学習は、津久見小学校3年生を対象に行われ、アジ、カマス、サバ、イワシの4種の干物を用意し、校庭に七輪を並べ、児童たち自ら焼いて食べてもらいました。魚嫌いの児童がいるかと思いましたが、全員完食していました。

「津久見市の健康を食の面から支える」 ヘルスメイト交流会



・ ・ ・ ・ ・
ひじきめし (保戸島)
すまし汁 (保戸島)
たちうおの春巻き (徳浦)
鶏のみぞれかけ (津久見)
五色なます (青江)
かばちやサラダ (千怒)
石垣もち (日代)
泡雪 (千怒 小手川さん)

～お品書き～



3月23日、市民館にて普段は各地区に分かれて活動を行っているヘルスメイトのみなさんが一堂に集まり、今年度の活動の締めくくりとして交流会を行いました。
この日は、各々自慢の一品を調理し、にぎやかに話をしながら食事をしました。
ヘルスメイトのみなさん達は、市が開催する養成講座を修了した人のみが加入している、食のボランティア団体です。「私達の健康は私達の手で」をスローガンに掲げ、料理教室や学習会などの活動やふるさと振興祭などイベントに参加し、市民の健康を食の面から支えてくれています。



活躍を期待しています

小手川隆一さん、柳生大地さん、神田虎太郎さん



2月27日、市役所において自衛隊新入隊者壮行会が行われました。日本の平和と独立を守り、災害時などに活躍する自衛隊です。厳しい訓練などが待っていると思いますが、一日も早く活躍できるよう頑張ってください。



山を愛する心を持ってもらいたい 山桜植樹

2月23日、青江ダム公園から歩いて30分ほど登った所にある火焚岩地区に、青江小学校6年生24名が、山桜50本を植樹し、植樹した一本一本に児童のネームプレートをつけました。つくみ山桜まつり実行委員会事務局長の有田さんより「山を愛する心を持ってもらい、みんなで森を育ててもらいたい」とあいさつがありました。

今回、植樹した場所は、「つくみ山桜まつり」の会場のひとつとなる松川展望台から見える場所にあり、児童たちが成人を迎える頃、山桜スポットのひとつとなる予定です。この取組みは、今年で3回目となります。

※市ホームページ内「取材日誌」、市公式フェイスブックにて、掲載出来なかった写真や記事をご覧ください。